

チエンジ!

人 小金井から変える 市民が変える に寄りそう グリーンな東京

待ったなしの気候と生物多様性の危機、戦争と混迷の世界
そして「政治とカネ」への政治不信
だからこそ、小金井から&大都市・東京から
道路事業・大型開発などすべての事業の抜本的な見直しへ
コロナ禍を経て、ケアを真ん中に、福祉・保健・医療の立て直しへ
希望の未来へ向けたチェンジのときです!

かんどあきこ プロフィール
1960 静岡県生まれ / 1965 東京都府中市へ /
1980 東京学芸大学入学 (85 中退) / 1983-95 小
金井市内保育所で保育士 / 1997-2013 小金井市議
4期 16年 / 2021 都議選 (小金井市選挙区) 当選



漢人あきこ
ホームページ

都政へのご意見をお寄せください



漢人あきこ
東京都議会議員

市民とともに守りぬく! はけと野川

はけと野川を分断する都道

小金井市の南側には、東西に「はけ」(国分寺崖線)が走り、湧水を集めて野川が流れ、武蔵野公園の草地や雑木林が広がっています。豊かな生態系に恵まれた里山の景観は安らぎの空間です。東京都は2016年、この小金井の宝ともいえるエリアを分断する2本の都市計画道路(右図参照)を優先整備路線とし、2026年3月までに事業着手すると決めました。



2路線 (3・4・1号線と3・4・11号線)

道路による動植物への影響に警鐘

2021年の都の「環境概況調査委託報告書」でも、植物では70%近くの在来種率の329種もの在来種、植物・昆虫・野鳥などに多くの重要種、猛禽類も生息する豊かな生態系が確認されました。報告書は、道路事業による直接的な変化や環境変化による間接的影響を受ける可能性があるという警鐘も鳴らしています。



2022年6月の一般質問。漢人は「ハケの森と野川と草原の生態系図」(野川はたる村作)を掲げ、小池知事に道路予定地の自然環境の認識を問い、事業化中止を求めた。

ドブ川から清流へ、よみがえる生態系

50年前は生活排水でドブ川だった野川を、市民と市の協力で清流へ復活、東京都もコンクリートをはがし自然型河川へと改修しました。2006年には自然再生推進法の「自然再生事業」がスタート。都内で唯一の事業として、市民と行政が、田んぼや池、湿地、草地等を復元、今では豊かな生態系がよみがえり、オオタカが舞い、はたが優しい光を放つ姿があります。



道路建設予定地周辺復元された田んぼで稲刈りする市民たち

市長も中止を明言 事業化期限まで2年

2022年11月市長選で当選した白井亨さんは事業化中止を明言。都はいまだ道路構造も明らかにせず、2023年度は事業化に向けた地元周知の予算は未執行ですが、新年度も予算計上しており、まだあきらめていません。2026年3月まであと2年。漢人あきこは市民のみなさんとともに、都に道路事業断念と、「はけ」と野川の生態系を保全、復元していく道を求めています。



2024年1月 都建設局へ市民団体の申し入れ

漢人あきこの第11回 都議会報告会

5/19 日 14:00~16:00
@ 小金井 宮地楽器ホール・スペースD
JR武蔵小金井駅南口駅前

- ① 2024年度の東京都ここに注目
- ② はけと野川と道路の現在・過去・未来

湧水、グリーンインフラ、道路問題などに取り組んでいるみなさんのお話を聞き、意見交換しましょう。



「ガザ停戦決議」全会一致で可決!!

都議会は、12月20日の第4回定例会最終日に、全ての当事者と国際社会に対して一刻も早い事態の解決を求める「パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の停戦等の実現に関する決議」を全議員の賛成で可決しました。



都の責任で多摩格差解消を！ 学校給食費無償化

給食費無償化は23区では実現。多摩地域は厳しい財政状況のためほとんど未実施でした。この格差解消のためグリーンな東京他3会派は昨年12月に「学校給食費無償化条例」を共同提案しましたが、残念ながら否決になりました。小池知事は、自治体負担分の2分の1を補助する予算を提案しましたが、これでは、多摩地域では実施困難な自治体が多数です。全額補助で完全無償化を実現しましょう！

公正さに疑問 入試活用は中止を スピーキングテスト

不安と疑問が寄せられる中、11月26日、2年続いて中学校3年生を対象に英語スピーキングテスト(ESAT-J)が実施されました。英語スピーキングテストの高校入試活用中止のための都議会議連等による実施状況調査では「声が聞こえて(部分的にでも)何を言っているかわかった」など試験の公正さを疑問視する多くの問題点が寄せられました。高校入試への活用は行うべきではありません。

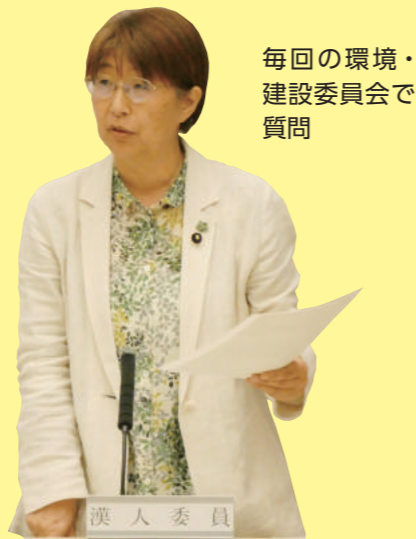


2024年2月 ESAT-J入試活用中止を求めて市民団体との合同記者会見

2030年カーボンハーフへ 気候危機

小池知事は昨年末にドバイで開催されたCOP28でも水素活用をアピールしてきましたが、水素は今求められている2030年カーボンハーフ※にはほとんど役に立ちません。パリ協定の「1.5℃目標」達成のため、COP合意の「脱化石燃料」「2030年までに再エネ3倍・省エネ2倍」を真摯に受け止め、2030年に向けて実効性のある徹底的な取り組みを、都に求めます。

※2030年までに温室効果ガス排出量を2000年比50%にする目標



毎回の環境・建設委員会で質問

2024
漢人あきこの

東京ビジョン



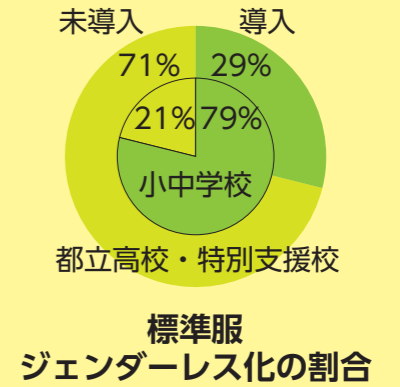
みんなでつくる〈東京政策〉と
重点政策はこちら

〈2024年度予算編成に対する重点政策〉から

男女混合名簿100%! ジェンダーレス標準服

漢人は、男女混合名簿100%に向け、一昨年から都内小中学校を調査し都に申し入れてきました。その結果、今年4月、全小中学校の出席簿が100%混合名簿となりました。

昨年は標準服も調査。「スラックス・スカートを選択できる」小中学校は79%でした。さらに文書質問で都立高校と特別支援校は29%と判明。標準服100%ジェンダーレス化にむけて、特に都立学校での取組みが大きな課題です。



調査強化で新たな汚染防止 PFAS汚染

PFAS(有機フッ素化合物を含む泡消火剤やその汚染水の、米軍横田基地での大量の漏えいや保管が明らかになり、市民団体と研究者の調査でも汚染の深刻さが確認され、WHOの研究機関は発がん性があると発表しました。

都は地下水汚染調査を前倒し調査箇所を増やすなどしていますが、水道水はもちろん、井戸水、土壌、農作物などの多角的な調査や、予防原則に立った対策強化を求めます。

コモンより営利優先の再開発NO! 狙われる都市公園

神宮外苑、日比谷公園など、都心部では「再開発」「再整備」によってコモン*であるべき公園・緑地が営利の対象とされ大改造されようとしています。事業収益が優先され、大量の樹木伐採も危惧され、中止を求める声が高まっています。都議会には多くの請願や陳情が提出され、神宮外苑再



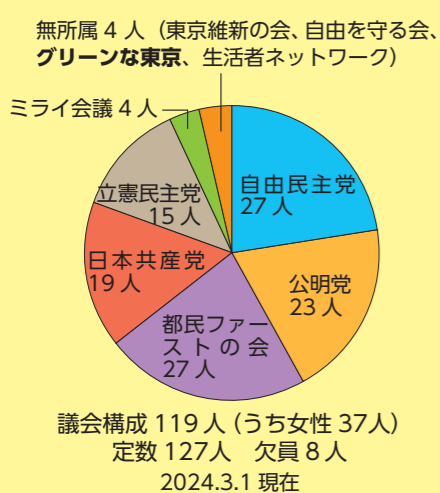
再開発事業に揺れる神宮外苑のいちよう並木

開発をとめ自然と歴史・文化を守る議員連盟も発足し、計画見直しを求めています。

*本来商品化すべきではない公共財

超党派でアクション!

都議会の会派構成



都議会はかつては自民党、前期は都民ファーストの会が圧倒的な過半数を占める「一強」議会でしたが、今期はどの2会派が組んでも過半数にはなりません。英語スピーキングテストや神宮外苑再開発の議員連盟など、超党派の議員が連携する活動もあり、予定調和とは限らない緊張感と流動性がある議会になっています。



2023年9月@都庁前 気候危機アクションに賛同して超党派都議でスタンディングとリリーススピーチ

都議会ればーと特別版

2年間の活動をインタビューと23の重要政策でまとめました。



*A4判
32ページ
無償配布



こちらでも
ご覧になれます

東京都議会 グリーンな東京
ご意見・ご要望をお寄せください

連絡先

漢人あきこ小金井事務所
〒184-0004 小金井市本町1-9-3-102
TEL&FAX 042-308-2618
オープン月・水・金・土 14:00~18:00

都議会控室
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-7280 / FAX 03-5388-1910



<https://kandoakiko.com/>